

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
国語	現代の国語	2	必履修	講義	—	▽	再	再	再		
学習目標	○読む、書く、聞く、話すというさまざまな言語活動を通じて、実社会で必要な国語の知識・技能を身に付けると共に、論理的に考え他者とのかかわりの中で自分の思いや考えを伝え合う力を高める。										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	1学期 ○伝わりやすい話し方のコツを学ぶ ○正しい表記、整った文法で書く ○問題提起と答え、具体例、接続詞、指示語など読解の基礎を学ぶ 2学期 ○主張と根拠、具体と抽象、対比など論理の展開を意識しながら読解を行う ○目的や読み手を意識しながら文章を書く 3学期 ○目的に応じて推敲しながら文章を書く ○構成や展開を工夫したプレゼンテーション									
教科書 副教材等	50	大修館	現国 707	『新編 現代の国語』(大修館書店)						『新編 現代の国語 学習ノート』(大修館書店)ほか	
留意事項	○「現代の国語」は卒業までに2単位履修しなければならない。(16期生以降) ○「国語総合」の未履修者(15期生まで)は卒業までに「現代の国語」2単位と「言語文化」2単位を履修しなければならない。 ○「国語総合」を履修済みの生徒は履修できない。 ○「現代の国語」を再履修する場合は、「言語文化」を同時登録することが望ましい(どちらも未履修の場合)。 ○学習計画は変更の可能性あり。										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 「国語総合」を履修していない。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『読解力を身につける』(村上慎一)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		
国語	言語文化	2	必履修	講義	—	▽	再	再	再		
学習目標	○現代文及び古典のさまざまな教材を通じて、国語のおもしろさに気付く。 ○主に読む、書くという言語活動を通じて、基礎的な国語力を養う。										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	1学期 ○古文入門(古文を読むために) ○古文(説話) 2学期 ○漢文入門(訓点、格言) ○漢文(故事成語) ○近現代の小説 3学期 ○韻文(詩歌、俳句、短歌)									
教科書 副教材等	104	数研	言文709	『新編 言語文化』(数研出版)						副教材『新編 言語文化 準拠ワーク』(数研出版)、『改訂版 アニスト常用漢字』(数研出版)	
留意事項	○「言語文化」は卒業までに2単位履修しなければならない。(16期生以降) ○「国語総合」の未履修者(15期生まで)は卒業までに「現代の国語」2単位と「言語文化」2単位を履修しなければならない。 ○「国語総合」を履修済みの生徒は履修できない。 ○「言語文化」を再履修する場合は、「現代の国語」を同時登録することが望ましい(どちらも未履修の場合)。 ○学習計画は変更の可能性あり。										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 「国語総合」を履修していない。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『高校生のための近現代文学ベーシック ちくま小説入門』(紅野謙介/清水良典 編)										



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	国語常識	2	学校必登録	講義	—	—	◎	—	—
学習目標	○論理的な文章の論旨をていねいに読み取ることができる。 ○文学作品を鑑賞し、考えをまとめることができる。 ○読解したことを生かし、読み手にわかりやすい文章を書くことができる。								
主な学習計画	1年間の学習	○近代の文学作品、論理的な文章の読解をする。 ○文章表現について資料分析、意見文の構成、レポートの作成などを予定							
教科書副教材等	2	東書	論国701	『新編論理国語』(東京書籍) 『改訂版アシスト常用漢字』(数研出版)『新訂版 最新国語便覧 本誌+デジタル版』(浜島書店) 『新編 論理国語学習課題ノート「小説三選」付属版』(東京書籍)ほか					
留意事項	○『改訂版アシスト常用漢字』『新訂版 最新国語便覧』は「言語文化」で使用したものを再度使用する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次である。(2年次学校必登録科目)								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『学問の発見—数学者が語る「考えること・学ぶこと」』(広中平祐)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	現代文	2	自由選択	講義	30	—	—	○	○
学習目標	○文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。 ○目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させていく。								
主な学習計画	1年間の学習	『こころ』などの近代の文学作品や『思考の肺活量』などの論理的な文章を読解する。							
教科書副教材等	2	東書	論国701	『新編論理国語』(東京書籍) 『新編 論理国語』学習課題ノート「小説三選」付属版』(東京書籍)、便覧ほか					
留意事項	○「便覧」は1・2年次に使用したものを再度使用する。 ○「現代の国語」と「言語文化」または「国語総合」を修得していた方が、学習の理解に効果的である。未修得の場合は国語科教員に相談すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で「現代文 A」または「現代文 B」を履修していない。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『こころ』(夏目漱石)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
国語	古典探究	4	自由選択	講義・演習	30	-	○	○	○
学習目標	○古典を読み深めることを通して、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する。								
主な学習計画	1年間の学習 1学期 ○品詞、用言の活用 ○随筆、日記、物語などの文章を読み、課題発表をする。 2学期 ○助動詞、敬語 ○軍記物語、歴史物語などの文章を読み、課題発表をする。 3学期 ○漢文 ○難易度の高い物語読解や創作を行う。 ※次年度以降の「古典演習」を意識した内容、スピードで展開する。 ※各単元で発表や創作活動を行う。 ※学習計画は変更の可能性がある。								
教科書 副教材等	50 大修館 古B342 『高等学校 古典探究』(数研出版) 『高等学校 古典探究 準拠ワーク』(数研出版) 『Key&Point みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版』(いいずな書店) 『基礎から学ぶ 解析古典文法[三訂版]』(桐原書店) 『基礎から学ぶ 解析古典文法[三訂版]演習ノート』(桐原書店)ほか								
留意事項	○「探究」を目的とする科目であり、話し合いや発表などの活動が頻繁にあるので注意すること。 ○「言語文化」または「国語総合」の評定が「3」以上であることが望ましい。 ○文系上級学校への進学を目指し、次年度以降古典演習を受講する意欲があることを前提とする。 ○「古典演習」の登録は、この科目若しくは「古典B」を修得していることが条件となる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「言語文化」または「国語総合」を修得済み(または見込み)。 【評定「3」以上が望ましい。】 <input type="checkbox"/> 「古典B」を履修していない。 <input type="checkbox"/> 「古典演習」との同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『あさきゆめみし』(大和和紀) 『項羽と劉邦』(司馬遼太郎)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
国語	表現国語	2	自由選択	講義・実習	15	-	-	○	○
学習目標	○学校生活や社会生活で必要となる、説得力のある表現など「効果的に表現する」能力を身につける。 ○題材に応じて様々な情報を取捨選択する力を身につけ、自分の考えをまとめる能力を身につける。								
主な学習計画	1年間の学習 ○オリエンテーション ○自己紹介 ○スピーチ発表 ○自己PR型小論文 ○模擬面接 ○テーマ型小論文 ○論文 ○上記の学習内容を踏まえたプレゼンテーション								
教科書 副教材等	2 東書 国表 702 『国語表現』(東京書籍) 『国語表現ワークブック』(東京書籍)								
留意事項	○受講希望者は、話し合ったり発表したりしやすい雰囲気づくりに協力すること。また、スピーチやプレゼンテーションなどの発表活動に積極的に参加すること、提出物を期限内に必ず提出することが単位修得に必要不可欠である。 ○学習計画は変更の可能性あり。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 発表等 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「現代の国語」と「言語文化」または「国語総合」を履修済み(または見込み)。 <input type="checkbox"/> 「国語表現」を履修していない(15期生以前) <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『レポート・論文の書き方入門』(河野哲也)								



教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	現代文演習	2	自由選択	講義・演習	30	-	-	○	○
学習目標	○大学受験を視野にいれた読解力・答案力を身に付ける。 ○入試レベルの評論文に対して、論理的読解力の向上をめざす。小説文に対して、心情読解・情景読解を中心に客観的読解力の向上をめざす。								
主な学習計画	1年間の学習	年間通して大学入試(共通テスト・一般入試)を想定した演習・解説							
教科書副教材等	共通テストに関する問題集、私大対策に関する問題集などを予定。								
留意事項	○大学入試レベルの演習形式の授業展開を予定。 ○定期考査には応用力を問うために初見の文章も出題する予定。 ○「現代の国語」と「言語文化」または「国語総合」を修得済み(または見込み)である。 ○大学入試(共通テスト・一般入試)を受験する予定のもの								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「現代の国語」と「言語文化」または「国語総合」を修得済み <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『現代文の勉強法をはじめからていねいに』(出口汪)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
国語	古典演習	2	自由選択	講義・演習	30	-	-	○	○
学習目標	○古典に用いられている語句、用法、文法等を理解し、理解や関心を深めながら読む能力を養う。 ○古典を読んで内容を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。								
主な学習計画	1年間の学習	○古典文法の総合的理解 ○大学入学試験を想定した演習							
教科書副教材等	『基礎から学ぶ解析古典文法』(桐原書店) 『Key&Point みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版』(いいずな書店) 『基礎から学ぶ 解析古典文法[三訂版]』(桐原書店) 『基礎から学ぶ 解析古典文法[三訂版]演習ノート』(桐原書店)ほか								
留意事項	○「古典B」、または「古典探究」を修得済み(または見込み)である。 ○『基礎から学ぶ 解析古典文法』『Key&Point みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版』は「古典B」、または「古典探究」で使用したものを再度使用する。 ○上級学校受験で古典を必要とする生徒向けの講座である。 ○「古典B」、「古典探究」よりも内容が高度かつ進行が速い。自宅での予習・復習が必須である。 ○「古典B」、または「古典探究」の評定が「3」以上であることが望ましい。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「古典B」、または「古典探究」を修得済み(または見込み)である。【評定「3」以上が望ましい。】 <input type="checkbox"/> 「古典探究」との同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『基礎から学ぶ 解析古典文法』(桐原書店編集部) ※使用教材								

## 授業選択の話①

### 卒業に必要な条件（卒業要件）

卒業の認定は、次の各項をともに満たしたときに行います。（学校生活の手引きから引用）

- (1) 教科・科目の修得単位数の合計が **74単位以上** であること。（LHRは含まない）
- (2) 本校を含めた高等学校での修業が、**通算3年間以上** であること。
- (3) **定められた必履修科目および学校必履修科目を、本校の規定にしたがってすべて履修していること。**
- (4) 本校に**半年以上在籍**していること。
- (5) 特別活動（ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事）の成果がその目標から見て満足できると認められること。
- (6) 授業料の未納がないこと。

